



滝田医院ニュース

022-0001 岩手県大船渡市末崎町字細浦77番地 滝田医院
電話0192(29)3108 内科・循環器科・消化器科・呼吸器科・リハビリテーション科

日本循環器学会認定循環器専門医

第8号

発行日 2005(平成17)年6月9日

不整脈はスッキリと治しましょう！

目次:	
不整脈の検査と治療	1面
爪白癬の薬物療法	1面
診察室から	2面
クイズ	2面
随想	2面

脈が乱れる、脈が結滞する、心臓がドキドキする、心臓の鼓動が強く感じる、などの症状でお困りの方はいませんか？これらの現象を不整脈と呼んでいます。

不整脈には、心臓に異常があつておきる場合と、異常がなくともおきる場合があります。心臓に異常があれば、原因をはっきりさせた上で、その原因を取り除くことが、不整脈の治療につながります。心臓に異常がなければ、安定剤や抗不整脈剤を内服して症状を取り除くこと(対症療法)をおこなう場合がありますし、そのまま様子を見る場合もあります。

いずれにせよ、心配なときは、当院のような循環器の専門医を受診することをお勧めします。

当院で可能な心臓の検査としては心臓超音波検査(心臓エコー)や24時間心電図(ホルター心電図ともいいます。)があります。

心臓超音波検査は10分程度で終わります。特別な準備は不要で、痛みもありません。心臓の動

きや大きさ、心臓内部の血液の流れなどを観察します。

24時間心電図は、下の写真のような小さい心電計と胸に貼り付けたシール(電極)で一日の心電図を記録する検査です。患者さんが脈が乱れるように感じるときに心電図でも不整脈が現れるかどうかわかります。また不整脈にもいろいろな種類があり、使うお薬の種類も異なりますが、この心電図により不整脈の種類もわかります。お仕事を休む必要はありませんが、当日の入浴はできません。翌日も来院していただき、器械をはずして終了です。専門医がいる当院内で分析しますので、翌々日くらいには結果をお伝えできます。身近な循環器専門医を是非ご利用下さい。



右図上はホルター心電計です。下のボールペンとくらべると小ささがおわかりでしょう。

お知らせ

6月23日(木)

午後は休診です。

(午前中は通常診療
します)

保険問題講習会出席のため。
気仙地区の開業医は同日午
後は、ほとんど休診となりま
す。ご注意下さい。

爪の水虫(爪白癬)のお話

じめじめした梅雨がやってきます。とくに漁業や水産加工などのお仕事で、長靴を履かなければならない方にとっては、不愉快な季節です。水虫をもっている場合はなおさらでしょう。なかでも爪の水虫は、爪の色や形が変わったりしてしまうので厄介です。爪水虫は、爪の奥深いところまで、水虫の菌(白癬菌といいますが)が入り込んでいます。塗り薬では薬の効果が爪の表面にとどまり、くりかえし塗っても効果が少ない場合が多いようです。それに比べて、医師が処方する飲み薬はいったん全身で吸収してから、白癬菌が巣食っている爪の奥まで届きます。つまり頑固な

爪水虫には、塗り薬より飲み薬の方がよく効くのです。

長年にわたり変形・変色した爪が、完全にきれいな爪に生え変わるまでは時間がかかります。ですから、飲み薬の効果がはじめるのは2~3ヶ月後からです。最低でも6ヶ月間くらいは内服を続ける必要があります。薬の種類によっては肝臓障害が出やすかったり、血圧のお薬やコレステロールを下げるお薬との飲み合わせに注意する必要があります。かならず定期的に医師の診察をうけてください。

当院では水虫の飲み薬も塗り薬も処方しています。お悩みの方は医師にご相談下さい。

診察室から

開業以来2年3ヶ月を経過して、床やソファの汚れが気になりました。もちろん毎朝、職員が丹精こめて掃除をしますが、十分ではありません。今まで2、3回専門の清掃業者さんをお願いしてきましたが、今回も大掃除を依頼することにしました。休診日に行うので、患者さんの迷惑にはなりません。今月下旬には作業完了の予定です。患者さんをさわやかに迎えてできると思います。

最近、お薬を誤って多く飲みすぎる患者さんや、お薬を紛失してしまう患者さんがいらっしゃいます。お薬は使用法を誤れば毒にもなります。医師の指示通りにお飲み下さい。またお年寄りでお薬を飲んだかどうか忘れやすくなった方はご家族にお薬の管理をお任せしてもよいかもしれません。お薬をなくしてしまった場合、追加の処方健康保険がきかず自費扱いとなってしまいます。なくさないよう

に十分ご注意ください。お薬の保管場所を決めておくとよいでしょう。

アナフィラキシーショック(アレルギー反応の重篤なもの)に対する第一選択の治療薬にエピネフリンがあります。このエピネフリンの自己注射(商品名エピペン)は従来、ハチ毒アナフィラキシーに対してのみ適応が認められていましたが4月より、食物性アナフィラキシーにも適応が認められました。そしてこのほどエピペンの処方医師として当院医師が登録されました。明らかな食物アナフィラキシーの既往がある方は当院医師にご相談下さい。なおエピペンは登録医師以外は処方できないことになっています。またエピペンの処方自由診療となっています。

(注意: 普通の食物アレルギーには、エピペンは不必要です。)



コレステロール・クイズ

検診や人間ドッグの結果のうち、血圧や肝機能ならなんとなくイメージできるが、コレステロールとなるとよくわからないという方も少なくありません。

そこでコレステロールに関するクイズです。

第一問:コレステロールはやせた人では高くない。○か×か?

第二問:コレステロールは食事療法さえきっちりやれば簡単に下がる。

○か×か?

第三問:コレステロールが高くなると、すぐに具合の悪い症状が現れる。○か×か?

答えは三問とも全て×です。意外な感じをもたれた方もいらっしゃると思います。

高脂血症(コレステロールが高くなる病気)は動脈硬化をすすませて、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞の原因のひとつとなります。今後も折に触れて勉強しましょう!



ツツジ (5月下旬撮影)

周回遅れがトップになる?! わが気仙について。

最近日本全国どんな田舎に行っても、某「Mドナルド」などのファストフード店や某「Lソ」などのコンビニ、ロードサイド店が林立しています。また都会のみならず、地方でも凶悪事件が多発しています。都会は危険で刺激的、田舎は安全で純朴、という図式は当てはまらなくなっているようです。先日、「ファスト風土化する日本」(洋泉社新書)という本を読んで、今の日本の上述のような地方の状況(著者はそれを「総郊外化」と呼んでいます)とそれをつくった原因が理解できた気がしました。題名は「ファスト風土」を「ファストフード」に引っ掛けたくらいなものですが、内容はなかなか真実を衝いたものだと感じました。

翻ってわが気仙地方はコンビニこそ、そこそこありますが、ファストフードのお店やロードサイド店は数少なく、全国的な尺度で言えば、「高速情報化に取り残された田舎」ということになってしまいます。さらにこの本によれば、この総郊外化を打破するためには、コミュニティとコミットメントを形成した「スロー風土」の形成が必要だと書かれており、都内の吉祥寺、下北沢、高円寺あたりがそれを目指しているとの事です。しかし実際のところこの気仙こそ「スロー風土」の最たるものではないでしょうか?ということはこの気仙こそ荒れた日本の中の数少ない理想郷となるポテンシャルを秘めているのかもしれない。